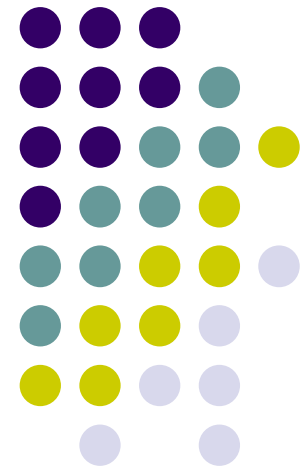


# NPO活動推進補助金報告会資料

## 教育の未来を考える！ 10周年記念特別講演会実施事業

NPO法人 箱崎自由学舎えすぺらんさ



# えすぺらんさって？



☆当学舎は不登校生の居場所！  
フリースクールです！  
子どもたちの支援はもちろん・・・



☆不登校を理解していくためには・・・  
保護者への支援も必要！  
保護者の理解を促す取り組み



# 申請のきっかけ&動機



- これまでは・・・

経験者(保護者・若者)の声に耳を傾ける場を提供

⇒共有・共感を生む場としての役割

⇒少人数の有効性

- 今回は・・・

支援や教育をおこなう実践者・学校＝プロの視点

⇒学校や教育への期待・希望を生み出す役割

⇒多くの方と共有した内容

⇒10周年と絡めて大きな会場を使用できないか？



# 企画内容は？

教育現場で子どもたちの自己肯定感を高める  
取り組みを行う実践者によるパネルディスカッション

## ☆登壇者

- ・菊池省三 氏（北九州市立小学校 教諭）
- ・齋藤真人 氏（立花高校 校長）
- ・小田 哲也 （箱崎自由学舎えすぺらんさ代表）

# 当日の様子

当日は約200名の方にご参加頂きました



# 参加者の声(得られた効果)



- ・「困った子だ。本当は子どもが一番困っている」本当に心に響く言葉でした。
- ・パネリストの先生方の生徒たちはいつも愛を受けて幸せだろうなあと思いました
- ・子どものことを理解しようと言ってる割には自分の価値観を押し付けていたことに気付かされました。
- ・社会の側にもっと異なる個性を見る目が育てばいいなと思っています。
- ・褒めることが目的ではなく、自尊感情を高めることが目的だと気付かされました
- ・涙あり、笑いありのお話、とても充実していました。
- ・希望あふれる時間でした。先に生きる大人として自分の何ができるか、自分の在りようを考える時間になりました。



# 本助成金採択による効果

- 広報面での信用性  
後援名義、市報掲載、公的機関でのチラシ配布など
- 大規模な会場での集客効果
- 登壇者に対して、法人として恥ずかしくない  
謝金の支払が可能

おかげさまで10周年企画の名に恥じない事業  
をおこなうことができました！

ありがとうございました！